

|           |  |             |
|-----------|--|-------------|
| 事業名 CD    |  | 民俗資料館管理運営事業 |
| 細分化した事業名  |  | 民俗資料館管理運営事業 |
| 事業担当課室 CD |  | 教育課         |
|           |  | 整理コード       |

〈事務事業の位置づけ〉

|                 |     |                |
|-----------------|-----|----------------|
| 第6次長期総合計画での目的体系 | 大項目 | 魅力あふれるまちづくり    |
|                 | 中項目 | 次代へつなぐ歴史・文化の醸成 |
|                 | 小項目 | 地域文化の創造・継承     |
| 関連する個別計画等       |     | 根拠条例等          |
| 関連する事業          |     | 民俗資料館設置及び管理条例  |

〈事務事業の概要〉

|  |   |
|--|---|
| 事業の目的<br>(何のためにするのか)                       | 郷土に遺された各種の民俗資料の保存・活用を図り、本市の文化の保存・継承・発展に寄与するため、地域学習の場として、保存資料を公開する。  |
| 事業の対象<br>(誰・何を対象にするか)                      | 市民及び民俗資料館来館者  |
| これまでの改善経過                                  | 平成16年度より学芸員(非常勤1名)を配置。<br>常設展だけではなく、学芸員による企画展を開催。   |
| 事業の手段<br>(どんなやり方(手法)で)                     | <p>〈実施・運営方法〉 ■市 □委託 □補助金 □その他( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回の企画展を実施。</li> <li>1) イギリス帰国展記念特別展「土偶」4月29日～5月30日</li> <li>2) ミニ企画展「はかり展」7月16日～8月31日</li> <li>3) ミニ企画展「武田の里の礎」11月1日～12月27日</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文王国山梨実行委員会事業への参加。</li> <li>・自由研究プロジェクト「ミュージアム甲斐・ネットワーク」事業への参加。</li> <li>・広報や市のホームページによる企画展やイベント情報等の周知。</li> </ul> |
| 事業の成果<br>(どのような状態にしたいのか)<br>(どのような効果を得るのか) | 市民に資料館に来館してもらい、葦崎の歴史・文化を学ぶ場を提供する。<br>小中学生には生涯学習の場として、資料を提供し、自己学習等を支援する。   |

〈投入費用及び従事職員の推移〉

|      |                    | 20年度   | 21年度                | 22年度      |
|------|--------------------|--------|---------------------|-----------|
| A    | 事業費 (千円)           | 3,749  | 3,974               | 6,465     |
| 財源内訳 | 国庫支出金              |        |                     |           |
|      | 県支出金               |        |                     |           |
|      | 市債                 |        |                     |           |
|      | その他                |        |                     |           |
|      | 一般財源               | 3,749  | 3,974               | 6,465     |
| B    | 担当職員数(非常勤 職員E) (人) | 1 0.09 | 1 0.09              | 1.0 0.09  |
| C    | 人件費(平均人件費×E) (千円)  | 621    | 614                 | 604       |
| D    | 総事業費(A+C) (千円)     | 4,370  | 4,588               | 7,069     |
| *参考  | H22)市民1人当りの事業コスト   | 221 円  | H22)市民1人当りの行政サービス費用 | 599,027 円 |

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

|      | 指標名           | 指標の算出方法  | 実績値   |       |                   |
|------|---------------|--|-------|-------|-------------------|
|      |               |  | 20年度  | 21年度  | 22年度              |
| 活動指標 | 年間来館者数        | 1年間の来館者総数  | 1,485 | 1,397 | 1,354             |
|      | 年間開館日         | 1年間の開館日数   | 299   | 294   | 298               |
| 成果指標 | 1日あたりの来館者数    | 年間来館者総数/年間開館日数   | 4.9   | 4.6   | 4.5               |
|      | 企画展来館者数(人)    | 1)イギリス帰国展記念特別展「土偶」<br>2)ミニ企画展「はかり展」<br>3)ミニ企画展「武田の里の礎」 |       |       | 360<br>217<br>221 |
| 効率指標 | 来館者1人あたりの運営費用 | 総事業費/年間来館者総数(円)<br>7,069,000円/1,354人                   | 2,942 | 3,284 | 5,221             |

〈事業を自己評価〉

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 妥当性<br>(事業の手段・活動は妥当ですか) | <input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない<br>企画展等を開催し、葦崎の歴史・文化を積極的に学ぶ場を提供した。               |
| 成果<br>(意図した成果が上がっていますか) | <input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない<br>来館者数が減少傾向にある。                             |
| 効率性<br>(コストを見て効率的ですか)   | <input type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input checked="" type="checkbox"/> C 効率的でない<br>本年度は、水車小屋の改修経費が増加したが、コストをかけずに企画展の充実を図っている。 |

|         |   |
|---------|---|
| 総合評価    | <input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成  |
| 今後の事業展開 | <input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)<br><input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する)<br><input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり |

|                                     |  |          |                             |
|-------------------------------------|--|----------|-----------------------------|
| 改善・改革案                              | 改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)                  |          |                             |
|                                     | (1) 中長期的<br>資料館の建替えを含め、埋蔵文化財を含めた資料の公開活用施設の建設が望まれる。 | (2) 24年度 | (3) 23年度<br>本年度より学芸員が不在となる。 |
|                                     | 22年度の改善計画<br>経年による水車小屋の覆い屋が老朽化したため、屋根の張替えを行う。      |          |                             |
| 22年度の改善結果<br>屋根の張替えを行い、水車が風雨から守られた。 |  |          |                             |

市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)

|      |   |
|------|---|
| 課長所見 | 民俗資料の保存を目的に設置したものであるが、本市の歴史・文化を学ぶ唯一の施設であり、立地の不便さや施設の狭あい、老朽化の中でも、一定の資料館機能を果たしてきており、今後も企画展等を推進していく。 |
|------|---|